

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

事務事業名		予防接種事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	010201000331
				単独/補助	単独		040401
政策体系上の位置付け				主要事業		所属課	
総合計画の施策名		0102 健康づくりの推進				健康推進課	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり		市長マニフェスト			
施策名		02 健康づくりの推進		未来PJ事業		グループ	
手段名		01 ①健康づくりの推進		合併建設計画事業		健康づくり	
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計		単年度繰返し (年度~)			
01	04	01	02	01	00	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		予防接種法、感染症法、桜川市小児任意予防接種費用助成事業実施要項、桜川市風しん(成人)予防接種費用助成事業実施要項					

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【目的】 予防接種法及び感染症法に基づき、市民に予防接種を実施し、伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を防止し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。また、予防接種実施による健康被害が発生した場合、迅速な救済を図ることを目的とする。</p> <p>【手段】 県医師会及び真壁医師会桜川支部と委託契約を締結し、個別接種を実施する。</p> <p>【実施する予防接種の種類】 定期予防接種：A類疾病(ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、BCG、MR、日本脳炎、水痘、2種混合、子宮頸がん予防ワクチン、B型肝炎)、B類疾病(高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌) 任意予防接種：おたふくかぜ、小児インフルエンザ、ロタウイルス、成人風しん</p> <p>平成31年2月より緊急風しん抗体検査等事業として、風しんの第5期予防接種</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・桜川市予防接種対策協議会を開催し、予防接種事業を検討し、実施計画を立案する。 ・法改正に伴う規則及び要項の改正。 ・桜川市独自の補助事業実施のための要項制定及び改正。 ・県医師会、真壁医師会桜川支部及び県外医療機関と予防接種業務委託を締結。 ・対象者を抽出し、個別通知を発送する。 ・医療機関からの委託請求書の受理及び支払事務。 ・被接種者の記録を予防票から端末に入力し、個人個人の接種歴を管理する。 ・未接種者への接種勧奨。 ・県へ実績報告

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
対象者抽出と個別通知発送。 未接種者への勧奨の実施。 予防接種協力医療機関との契約及び支払い事務	市が実施した予防接種	種類	19.00	19.00	20.00	20.00	20.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
市民	対象者延数(予算計上延べ人数)	人	22,071.00	21,139.00	21,416.00	22,000.00	22,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
予防接種対象者及びその保護者が、予防接種の必要性や副反応について理解し、予防接種を適切な時期に接種する。 予防接種対象疾病の発生予防及びまん延防止。	接種者延数	人	19,633.00	19,070.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	247	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	
			一般財源	千円	79,261	73,713	86,219	
			事業費計(A)	千円	79,261	73,960	86,219	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	30年度事業費 実績(千円)			01年度事業費 予算(千円)		
	01 報酬	30		01 報酬	30	
	09 旅費	9		09 旅費	9	
	11 需用費	838		11 需用費	784	
	12 役務費	154		13 委託料	85,007	
	13 委託料	72,760		19 負担金補助及び交付金	389	
	19 負担金補助及び交付金	169				
	合計	73,960		合計	86,219	

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	予防接種事業	事務事業No.	10201000331	所属課	健康推進課
-------	--------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和23年に予防接種法が制定され、実施主体が市町村となり公費負担により実施された。定期予防接種の種類は増えている。乳児期に受ける予防接種が増え、回数や接種間隔も複雑になっている。かかりつけ医での予防接種を推奨しているため、県内医療機関で接種できるように拡充した。あわせて、県外での接種希望者のために償還払いを設けた。平成29年度は、「子どもの健診と予防接種ガイドブック」を市民の利便性を考慮し作成した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 小児の任意予防接種について、市外の医療機関への委託契約や償還払いによる経済的負担の軽減
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 「健康づくりの推進 予防接種を充実させる」に一致する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 予防接種法及び感染症法に基づき実施している。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がない 予防接種法に基づいている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 法改正がない限り、廃止・休止はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒具体的な手段、事務事業名 余地がない 類似事業は無い。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない 業務時間の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 市民に公平に周知している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 予防接種法に基づき、適切に事業を継続している。 重大な事故の発生はなかった。																						
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 (□ 目的の再設定 □ 効率性の改善) (□ 有効性の改善 □ 公平性の改善) (□ 統廃合ができる □ 連携ができる)	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) 成果マトリックス: <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	×																			
	維持																						
	低下																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
--	---